安全データシート

作成日： 2019/10/01
改訂日：

１．製品及び会社情報

製品名	Alinity タクロリムス除蛋白剤 (Alinity i Tacrolimus Whole Blood Precipitation Reagent)
製品コード	9P42-PPT-01_9P42X
会社名	アボットジャパン株式会社
住所	東京都港区三田三丁目 5 番 27 号
担当部門	カストマーサポートセンター
電話番号	0120-031441
緊急連絡先	カストマーサポートセンター 0120-031441
整理番号	CSC517-1

２．危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	
引火性液体	区分 2
健康有害性	
急性毒性（経口）	区分 4
急性毒性（吸入）	区分 3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2
環境有害性	
水生環境有害性/長期間有害性	区分 2

ラベル要素

絵表示

注意喚起語	危険
危険有害性情報	引火性の高い液体及び蒸気 飲み込むと有害 吸入すると有毒 重篤な眼の損傷 臓器の障害 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱後は手をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。
飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。直ちに、医師に連絡すること。
皮膚(または髪)に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合 : 医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
火災の場合 : 消火するために、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂、アルコール耐性消火剤を使用すること。
漏出物を回収すること。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
内容物および容器は適切な方法で廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

なし

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名（化学名又は一般名）	化学特性	CAS 番号	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
メタノール(Methanol)	CH3OH	67-56-1	84%	(2)-201
エチレングリコール	C2H6O2	107-21-1	13%	(2)-230
硫酸亜鉛一水和物	ZnSO4・H2O	7446-19-7	3% (亜鉛として、1.2%)	(1)-542

４．応急措置

吸入した場合	暴露源から遠ざけること。刺激または毒性の症状がみられる場合は、医師の診察/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	製品が付着した衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水で 15～20 分間洗うこと。刺激または毒性の症状がみられる場合は、医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	痛みなどの症状は遅れて表れ、症状の過小評価につながる恐れがある。少なくとも暴露後 48 時間は医学的観察を続けること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぐこと。刺激または毒性の症状が見られる場合は、医師の診察/手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	毒性の症状は数時間後に表れる可能性があるので、少なくとも暴露後 48 時間は医学的観察を継続することが推奨される。 肝臓および腎臓への影響 けいれん 胃腸の不調 吐き気 頭痛 方向感覚の喪失 眼刺激 めまい 気道刺激性
医師に対する特別な注意事項	データなし

５．火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、噴射水、または泡消火剤 •注意：閉鎖された空間で二酸化炭素を使用する場合には、酸欠を引き起こす可能性があるため、注意すること。 •規模の大きい火災の場合：この製品に関連する消火活動の方法を決める際、考慮すべき特有の化学物質や危険な反応性はない。環境に適した消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	特になし
消火を行う者の保護	規模の大きい火災の場合には、適切な耐熱、耐炎保護衣と呼吸保護装置を使用すること。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
項目 8.に記載の適切な保護具を使用することにより、暴露を最小限にすること。可能であれば、漏出を止めること。
保護具を着用していない者を近づけないこと。

環境に対する注意事項
液体及び蒸気を下水道、排水口、表層水または土壌に浸入させないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
少量の漏出の場合はペーパータオル等で吸い取る。
大量の漏出の場合、吸収材で囲って流出を防止する。ペーパータオル、一般的な吸収材、砂、珪藻土、おがくずなどの液体吸収材で吸い取ること。

漏出したエリアを清掃すること。温水と合成洗剤または類似の洗剤が適切である。

汚染されたものの廃棄については項目 13.を参照すること。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気・全体換気等）
特になし

安全取扱注意事項
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
容器を接地しアースをとること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。

接触回避
眼への接触を避けること。
吸入を避けること。

保管

安全な保管条件
保管に関する追加情報は、添付文書または製品ラベルを参照すること。

安全な容器包装材料
オリジナルの容器/包装でのみ保管すること。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策 情報なし

許容濃度

危険有害成分	日本産業衛生学会	ACGIH
メタノール	(2018 年版) 最大：200ppm (260mg/m^3)	(2015 年版) 時間加重平均（TWA）天井値　200ppm 短時間暴露許容濃度 (STEL) 天井値 250ppm(Skin)
エチレングリコール	(2018 年版) 未設定	(2017 年版) 時間加重平均 (TWA) 25ppm (V) 短時間暴露許容濃度 (STEL) 50ppm(V) (V): 蒸気及びエアロゾル
硫酸亜鉛一水和物	(2018 年版) 未設定	(2013 年版) 未設定

保護具

呼吸用保護具 通常の使用及び保管､または少量の飛沫(例 ペーパータオル等で十分吸い取ることができる量)の場合- よく換気されている室内では必要ない。
その他の異常事態 (例 大量の漏出)または消火活動などを行う場合 - 化学物質濃度が暴露限界を超えているような場合には、適切な濾過式呼吸用保護具を使うこと。

手の保護具 接触が予想される場合、不浸透性の保護手袋を着用すること。使用して汚染された手袋は適切に廃棄すること。

眼の保護具 安全眼鏡等を着用すること。液がはねる可能性がある場合、フルフェイスマスクまたはゴーグルを着用すること。

皮膚及び身体の保護具 通常の使用：実験服か他の適切な保護服を着用し、衣服の汚染を防止すること。
大量の漏出(例 衣服に浸み込む量)の場合：防水性の保護衣を着用すること。

特別な注意事項 清潔な清掃状態を維持し、一般的な予防策に従うこと。
製品や検体を使用する場所で、飲食を行わないこと。食べ物/飲み物を保管しないこと。休憩開始時、製品や検体を取り扱った後および作業終了時には手を洗うこと。
眼への接触を避けること。

９．物理的及び化学的性質

製品として

外観	
形状	液体
色	無色
臭い	特徴的な臭い
pH	情報なし
融点/凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	> 64℃
引火点	> 11℃
自然発火温度 (発火点)	自然発火性なし(455℃)
燃焼または爆発範囲の上限/下限	爆発の危険性なし。但し、爆発しやすい気体/蒸気混合物が形成される可能性がある。下限：5.5 Vol%、上限：44 Vol%
蒸気圧	情報なし
比重（相対密度）	0.866 g/cm^3 (20℃)
溶解度	水に対して：溶けにくい

１０．安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	仕様書通りの使用、保管であれば、分解しない。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は報告されていない。

１１．有害性情報

製品として

急性毒性	飲み込むと有害。吸入すると有毒。
皮膚腐食性および皮膚刺激性	刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	重篤な薬傷、影響は遅れて表れる可能性がある。 重篤な眼の損傷
呼吸器感作または皮膚感作性	感作性なし

１２．環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

製品を、地下水、水路または下水道に浸入させないようにする。水生生物にとって有毒。

１３．廃棄上の注意

本製品は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

１４．輸送上の注意

国際規制

陸上	ADR (欧州危険物道路輸送協定)	Class 3(Flammable liquids) Label 3+6.1 Packaging group II
海上	IMDG (国際海上危険物規則)	Class 3(Flammable liquids) Label 3/6.1 Packaging group II
	海洋汚染物質	非該当
航空	IATA(国際航空運送協会危険物規則)	Class 3(Flammable liquids) Label 3 (6.1) Packaging group II

国連分類	Class 3
国連番号	1230
品名	METHANOL solution

１５．適用法令

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	第 1 種指定化学物質 (法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1)	亜鉛の水溶性化合物(政令番号 1) (硫酸亜鉛一水和物)
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表 9)	メタノール(Methanol)(政令番号 560) エチレングリコール(政令番号 75)
	名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9)	メタノール(Methanol)(政令番号 560) エチレングリコール(政令番号 75)
	第 2 種有機溶剤等 (施行令別表第 6 の 2・有機溶剤中毒予防規則第 1 条第 1 項第 4 号)	メタノール(Methanol)(政令番号 42)
	危険物・引火性の物 (施行令別表第 1 第 4 号)	メタノール(Methanol) (政令番号 4 の 3)
消防法	第 4 類引火性液体、アルコール類 (法第 2 条第 7 項危険物別表第 1・第 4 類)	危険物第 4 類 第一石油類 水溶性液体 危険等級Ⅱ

１６．その他の情報

連絡先 お問い合わせの第一報は、カストマーサポートセンター：0120-031441 まで。

その他 この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには充分注意してください。

なお、含有量、物理/化学的性質、危険有害などの記載内容は、情報提供を目的とするものであり、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

また、この安全データシートの内容について、特に混合物の場合には、成分の濃度等を考慮した上でご閲覧ください。